

平成29年度事業報告

平成29年度の諸事業については、行政、賛助会員及び会員各位等の努力、協力により、次のとおり概ね順調に実施できた。

A 食品衛生指導員活動の充実・強化について

1 食品衛生指導員による巡回指導

食品衛生指導員による巡回指導については、下記の重点指導項目を中心に実施した。

(1) 日食協補助金事業（食品衛生指導員活動特別補助金）巡回指導の重点指導項目 「HACCPの考え方に基づく衛生管理の実施」

巡回指導等により会員をはじめとする飲食店事業者に対し、リーフレットの配布等を通じて普及啓発活動を実施する。

(2) 県費補助金事業である食品衛生指導員巡回指導の重点指導項目

- ① HACCPの考え方に基づく食品衛生管理体制の確立
- ② 食品衛生管理等の記録及び保存の徹底
- ③ 正しい食品表示の実施及び表示の確認の徹底
- ④ 食品衛生責任者の設置・届出の徹底
- ⑤ 適切な手洗いの方法の指導
- ⑥ 食品衛生情報紙の配布及び情報の伝達

2 食品衛生指導員研修会の開催

食品衛生指導員の資質の向上を目的として、次のとおり研修会を開催した。

(1) 第一次研修会

ブロック別に開催し、3ブロック合計で、指導員245名が参加した。

① 体験発表会

平成30年度食品衛生指導員体験発表の福岡県代表を選考するためのブロック選考会として実施した。

② 「食の安心・安全・五つ星事業」

日食協が推進している本事業について、他県支部の取り組み状況、事業内容、期待される効果、国が計画しているHACCP制度化との関連性などについて、（公社）日本食品衛生協会の担当者から説明頂いた。

(2) 食品衛生指導員第二次研修会、新規養成講習会第二日、委嘱状交付式及び
食品衛生指導員体験発表審査会

日 時 平成30年3月15日(木) 13:00~16:00

場 所 福岡市民会館 小ホール

参加者 269名(うち指導員191名)

内 容

1) 食品衛生指導員体験発表福岡県支部審査会

2) 講演

「食品衛生指導における簡易検査実務について」

講師 公益財団法人北九州生活科学センター

生活科学部参事 堀川 和美 氏

常務理事 福島 直 氏

3) 感謝状贈呈、修了書及び委嘱状の交付

体験発表者への感謝状贈呈

指導員養成講習会修了者への修了書交付

食品衛生指導員への委嘱状交付

B 食品衛生の普及・啓発について

1 食品衛生月間事業

平成29年度は「食中毒予防シンポジウム」に代わって、10月に福岡県主催の「食の安全・安心シンポジウム2017」が開催された。

なお、県食協及び各支所においては、例年どおり、街頭キャンペーン、リーフレット・うちわ等の街頭配布による広報活動、食中毒予防パレード及び懸垂幕の掲示等による食品衛生啓発活動を実施した。

2 食品衛生責任者養成講習会の開催

各支所主催で食品衛生責任者養成講習会を29回開催し、2,079名が受講した。

3 食中毒予防講習会の開催

食中毒の多発時期にさきかけて、6~7月を中心に食中毒予防講習会を開催し、食中毒の未然防止と食品衛生の向上に努めた。

各支所での開催回数は44回で、6,244名が受講した。

4 ふぐ処理師試験準備講習会

福岡県が実施する「ふぐ処理師試験」に備えて、受験予定者を対象に「ふぐ処理師試験準備講習会」を2月14日(水)に開催し、52名が受講した。

5 ホームページ

協会ホームページに、毎月発刊の「食品衛生情報ふくおか」や食中毒予防講習会、ふぐ処理師試験準備講習会、食品衛生責任者講習会等の予定表などを掲載し、会員及び消費者への情報の提供に努めた。

6 食品衛生情報の充実及び配付伝達

「食品衛生情報ふくおか」を会員や食品等の事業者、消費者等に配付し、情報の提供に努めた。

7 その他

食中毒予防講習会テキスト、食中毒予防啓発チラシ及び「ふぐの種類と毒性」のポスターの作成、配布を行った。また、各支所発行の食品衛生カレンダーの作成支援等を行った。

C 福岡県食品衛生大会及び表彰等について

福岡県の後援の下、「福岡県食品衛生大会」を11月22日（水）に開催し、244名の参加があった。

第1部の特別講演では、医療法人社団益豊会今宿病院の深堀元文理事長兼院長による「ストレス社会と心の健康」と題する講演をいただいた。

また第2部の表彰式典においては、福岡県知事表彰、福岡県保健医療介護部長表彰及び当協会長表彰等、感謝状受賞者を含め、31名、50施設、9社に対して表彰を行った。

D 会議等の開催及び出席について

6月に社員総会を、5月、6月、7月、9月、1月及び3月に理事会を開催した。

また、公益社団法人日本食品衛生協会主催の会議や福岡、筑後及び筑豊の各ブロック主催の会議に出席した。

E 共済事業について

各種共済の加入促進に努め、食品営業賠償共済では5支所が優秀支所、6支所が努力支所であった。火災共済では4支所が優秀支所、6支所が努力支所となり、加入促進奨励金が支給された。